



脂肪乳剤について

脂質は3大栄養素のひとつでもあり、重要な栄養素です。
糖質、脂質、タンパク質は適正比率で組み合わせる投与が必要不可欠です。
今回は、静脈栄養に用いる脂肪乳剤について、その必要性や投与時の注意点を
紹介します。

必要性・目的

・効率の良いエネルギー補給

脂質は1gあたり9kcalのエネルギーを有します。

これは糖質に比べて2倍以上で、効率の良いエネルギー源といえます。

・必須脂肪酸の供給

必須脂肪酸は細胞膜やプロスタグランジンの材料として重要な役割を果たします。脂肪酸を含まない高カロリー輸液を続けていると、数週間で必須脂肪酸欠乏症を発症するといわれます。

注意点

・投与速度

投与速度が早いとうまく代謝されず、血中トリグリセリド値が上昇してしまいます。**0.1g/kg/h**前後が適切とされています。

(当院採用品の**イントラリポス輸液20%100mL**では、体重50kgの場合で1本4時間となります。)

・配合変化

脂肪粒子の粗大化や凝集が起こることがあるため、基本的に他の薬剤と混合して投与することは避けます。

・ラインの管理

脂肪乳剤中は微生物が繁殖しやすいため、投与に用いた輸液ラインは24時間で交換することが推奨されています。



脂肪乳剤の使用頻度は？

10%脂肪乳剤であれば100mL/日、または250mLを1日ないし2日おきに投与することで、皮膚症状などの必須脂肪酸欠乏症を改善、または予防することができます。

これを当院採用品に換算すると、おおよそ隔日の投与となります。